

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年9月14日(2017.9.14)

【公表番号】特表2016-533122(P2016-533122A)

【公表日】平成28年10月20日(2016.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2016-060

【出願番号】特願2016-537854(P2016-537854)

【国際特許分類】

H 04 W 16/28 (2009.01)

H 04 W 16/14 (2009.01)

H 04 W 84/12 (2009.01)

H 04 B 7/10 (2006.01)

【F I】

H 04 W 16/28

H 04 W 16/14

H 04 W 84/12

H 04 B 7/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月4日(2017.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

通信の方法であって、

第1の装置において、第1の技術に関連付けられた第1の送受信機の通信スケジュールを決定することと、

第2の技術によって通信するため少なくとも1つの通信制御パラメータを決定するために、第2の装置と通信することと、ここにおいて、前記少なくとも1つの通信制御パラメータの前記決定が、前記決定された通信スケジュールに基づく、

前記第2の技術と関連付けられた複数の指向性アンテナセクタの各指向性アンテナセクタに関して、前記第1の技術と関連付けられた通信と前記第2の技術と関連付けられた通信との間の干渉量を決定することと、を備え、

前記少なくとも1つの通信制御パラメータの前記決定は、前記第1の技術と関連付けられた通信と前記第2の技術と関連付けられた通信との間の最小干渉量と関連付けられる前記複数の指向性アンテナセクタのうちの1つを選択することを備える、方法。

【請求項2】

前記第1の技術は、第1のカバレッジ領域に関連付けられ、L T E 技術を備え、

前記第2の技術は、第2のカバレッジ領域に関連付けられ、I E E E 8 0 2 . 1 1 a h 技術を備え、前記第2のカバレッジ領域は、前記第1のカバレッジ領域よりも小さい、

請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1の装置は前記第2の技術に関連付けられた第2の送受信機を備え、隨意に、前記第1の送受信機および前記第2の送受信機はコロケートされる、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記通信スケジュールは、前記第1の技術に関連付けられた間欠受信(DRX)オフ期間を備え、

前記少なくとも1つの通信制御パラメータの前記決定は、前記第2の技術に関する制限付きアクセス窓が前記間欠受信(DRX)オフ期間内に入るように、前記制限付きアクセス窓を選択することを備える

請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記通信スケジュールは、前記第1の技術に関連付けられた間欠受信(DRX)オフ期間を備え、

前記少なくとも1つの通信制御パラメータの前記決定は、前記第2の技術に関するターゲットウェイク時間が前記間欠受信(DRX)オフ期間内に入るように、前記ターゲットウェイク時間を選択することを備える

請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記通信スケジュールは、前記第1の技術に関連付けられた間欠受信(DRX)オフ期間を備え、

前記少なくとも1つの通信制御パラメータの前記決定は、前記間欠受信(DRX)オフ期間内に入る、前記第2の技術に関連付けられた制御情報の送信用の時間を選択することを備える

請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記少なくとも1つの通信制御パラメータは、前記第2の技術に関連付けられた制御情報の送信用のレートを備え、

前記方法は、前記第1の技術に関連付けられた通信と前記第2の技術に関連付けられた通信との間の干渉の量を決定することをさらに備え、

前記少なくとも1つの通信制御パラメータの前記決定は、前記干渉に基づいて、前記レートを選択することを備える

請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記通信スケジュールは節電スケジュールを備え、および/または、

前記通信スケジュールは周期的通信スケジュールを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

通信のための装置であって、

第1の技術に関連付けられた第1の送受信機の通信スケジュールを決定するための手段と、

第2の技術によって通信するための少なくとも1つの通信制御パラメータを決定するために、別の装置と通信するための手段と、ここにおいて、前記少なくとも1つの通信制御パラメータの前記決定が、前記決定された通信スケジュールに基づく、

前記第2の技術と関連付けられた複数の指向性アンテナセクタの各指向性アンテナセクタに関して、前記第1の技術と関連付けられた通信と前記第2の技術と関連付けられた通信との間の干渉量を決定するための手段と、

前記少なくとも1つの通信制御パラメータの前記決定は、前記第1の技術と関連付けられた通信と前記第2の技術と関連付けられた通信との間の最小干渉量と関連付けられる前記複数の指向性アンテナセクタのうちの1つを選択することを備え、

前記第2の技術による通信のために前記選択された指向性アンテナセクタを使用するための手段とを備える、装置。

【請求項10】

前記第1の技術は、第1のカバレッジ領域に関連付けられ、LTE技術を備え、

前記第2の技術は、第2のカバレッジ領域に関連付けられ、IIEEE802.11ah技術を備え、前記第2のカバレッジは、前記第1のカバレッジ領域よりも小さい、

請求項 9 に記載の装置。

【請求項 1 1】

前記通信ための手段は前記第 2 の技術に関連付けられた第 2 の送受信機を備え、隨意に、前記第 1 の送受信機および前記第 2 の送受信機はコロケートされる、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 1 2】

前記通信スケジュールは、前記第 1 の技術に関連付けられた間欠受信 (D R X) オフ期間を備え、

前記少なくとも 1 つの通信制御パラメータの前記決定は、前記第 2 の技術に関する制限付きアクセス窓が前記間欠受信 (D R X) オフ期間内に入るように、前記制限付きアクセス窓を選択することを備える

請求項 9 に記載の装置。

【請求項 1 3】

前記通信スケジュールは、前記第 1 の技術に関連付けられた間欠受信 (D R X) オフ期間を備え、

前記少なくとも 1 つの通信制御パラメータの前記決定は、前記第 2 の技術に関するターゲットウェイク時間が前記間欠受信 (D R X) オフ期間内に入るように、前記ターゲットウェイク時間を選択することを備え、および / または、

前記通信スケジュールは、前記第 1 の技術に関連付けられた間欠受信 (D R X) オフ期間を備え、

前記少なくとも 1 つの通信制御パラメータの前記決定は、前記間欠受信 (D R X) オフ期間内に入る、前記第 2 の技術に関連付けられた制御情報の送信用の時間を選択することを備え、および / または、

前記少なくとも 1 つの通信制御パラメータは、前記第 2 の技術に関連付けられた制御情報の送信用のレートを備え、

前記装置は、前記第 1 の技術に関連付けられた通信と前記第 2 の技術に関連付けられた通信との間の干渉の量を決定するための手段をさらに備え、

前記少なくとも 1 つの通信制御パラメータの前記決定は、前記干渉に基づいて、前記レートを選択することを備える

請求項 9 に記載の装置。

【請求項 1 4】

前記通信スケジュールは節電スケジュールを備え、および / または、

前記通信スケジュールは周期的通信スケジュールを備える、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 1 5】

請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載のステップを行うように実行可能なコードを備えるコンピュータ可読媒体。